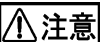
取扱説明書

E52NF E52G730 E52R301F E52B906F E52B529F E52N901F

2009/02/03

*取付ける前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使い下さい。
*この取扱説明書は、いつでも取出して読めるよう大切に保管して下さい。
*この商品もしくはこの商品を取付けた車輌を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書を併せてお渡し下さい。

GIVI E52F MAXIA トップケース	適応商品	
	モノキーベース用	各色共通

この度はデイトナ「Givi E52F トップケース」を、お買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
ご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読み下さい。また、取付け前に必ず商品の内容をお確かめ下さい。
なお、万一お気付きの点がございましたら、お買い求めの販売店にご相談下さい。

⚠警告　「身体や生命に危害を及ぼすと予想される事故の防止」のために必要な事項の表示

⚠注意　「デイトナ商品や純正部品、車体の損傷を防止」するための事項の表示

要点　「正しい操作方法や取付け方法、点検整備上のポイント」を示す事項の表示

＜特徴＞

- 樹脂製ハードケース。プッシュボタンにより取付け、取外しが簡単にできます。
- 車体から取外して携帯できます。
- ハイマウントストップランプ付きです。（12 V専用）
- モノラック・スペシャルラック・ウイングラック・に使用できます。本商品はサイドケースとしては使用できません。

⚠警告

- 各商品の指定積載上限を必ず守って下さい。（１ケースあたり３キログラム）
- 組み付け作業には専門知識と技術が必要です。信頼できる販売店にご依頼下さい。
- 激しいオフロード走行をしないで下さい。
- 公道上に限らず 100 km/h 以下で走行して下さい。
- この商品は、記載されている適応商品を装着している車輌以外には使用しないで下さい。
  以上に抵触した場合は、商品の破損や車体の損傷を招くだけでなく、事故を誘発しお客様が重傷を負ったり死亡する可能性があります。
  また第三者の財産や生命を損なう恐れがあります。
- 走行中に異常が発生したと思われる場合は、直ちにバイクを安全な場所に停止し、異常箇所を点検して下さい。
- この商品を取付けた場合、車輌重量が重くなるためハンドリングが変化します。また、ブレーキの効き具合にも影響しますのでご注意下さい。

⚠注意

- ケースのフタを閉める時に荷物を挟んでいないか確認して下さい。破損や変形の可能性があります。
- 使用状況、または使用環境によりケース内部が高温になる場合があります。
- 防水性を考慮した設計をしておりますが、完全防水ではありません。（積荷をポリエチレン袋で密閉するなどの措置を講じてください。）
  また、濡れた荷物を入れるとカビなどの原因になります。
- ハイマウントストップランプが点灯しない場合は各接点部が汚れていないか、ガタや緩みがないか確認して下さい。
- 組付け作業が終わるまでエンジン始動、走行は行わないで下さい。
- 定期点検を怠ると重大な事故やトラブルの原因となります。必ず実施して下さい。
- この商品をつかんでメインスタンド掛けや車体の取回しをしないで下さい。破損や変形の可能性があります。
- 施錠しても盗難を完全には防止できません。車両を離れるときは、貴重品を入れない、ケースを外して持ち歩くなどの自己防衛が必要です。

- 補修用キーについて
  Givi ケースは、キーシリンダーにナンバーが打刻されている為、防犯上の理由からキーのみの供給はしておりませんので、万一紛失してしまった場合は、カギ専門店等で解錠した上で、下記のキー＆シリンダーセットに交換して下さい。価格はすべて税込み標準価格です。

＊補修用キー＆シリンダーセット(ブッシュの色は黒になります)	商品No.３６３９４／￥１，２６０－
＊補修用接点（ＢＯＸ側）	商品No.３２４３１／￥１，２６０－
＊補修用接点（ベース側）	商品No.３２４３２／￥１，３６５－
＊開口制御プラスチック	商品No.４００６０／￥　２６３－

要点
- モノキーベースは別売りです。詳細は総合カタログまたは GIVI 専用ホームページ http://www.givi-jp.com をご参照下さい。
- ケースは装着しにくい場合がありますが脱着を繰り返すことでマウントに馴染んできます。予めご了承下さい。

上記の警告や注意、要点ならびにお願いなど本書に記載の事項を無視して発生したいかなる不具合に対しても株式会社デイトナおよびイタリアＧＩＶＩ社は一切の責任を負いません。

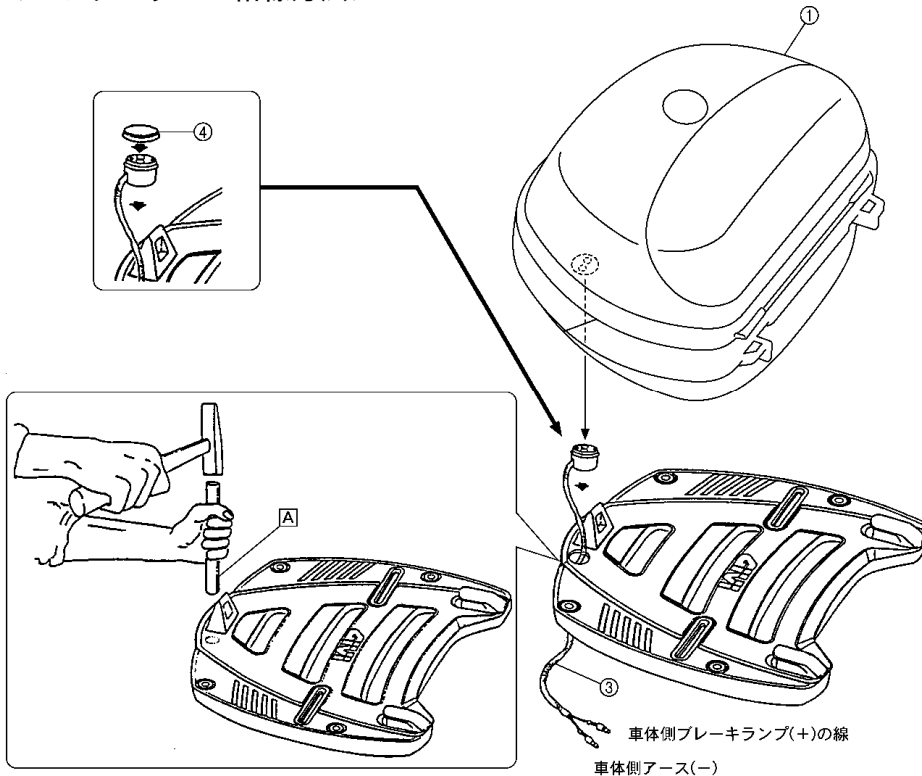
製造国　イタリア　　製造者　ＧＩＶＩ　Ｓ.Ｒ.Ｌ.

<オプション>　価格はすべて税込み標準価格です。

・複数のケースをご使用になるお客様にはセイムナンバーキー３本セットをご用意してあります。
（セイムナンバーキー＝キー、シリンダー、ロックブッシュ、サークリップ付きでGiviの全ケースに対応）

＊セイムナンバーキー３本セット（ブッシュの色は黒になります）　商品No.３５２９３／¥３，５７０－
＊バックレスト　Ｅ９５　商品No.４１１３９／¥５，７７５－
＊メタルラック　Ｅ９６　商品No.４１１４１／¥９，２４０－
＊インナートレイ　Ｅ９８　商品No.４１１４０／¥５，２５０－

<商品内容>

No.	パーツ名	サイズ（mm）	数量
①	ケース（52リットル）	447 × 593 × 315	1
②	キー		2
③	ﾍﾞｰｽ側接点ｱｯｼ.（ﾊｰﾈｽ付き）		1
④	接点部カバー		1
⑤	結線コネクタ		2

結線ｺﾈｸﾀを使う場合は③のオスギボシを切り落としてください。
(製造ロットによってギボシ端子なしの場合もあります。)

電球のため極性はありません。

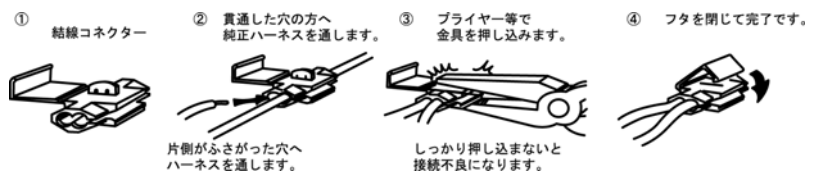
① 結線コネクター

② 貫通した穴の方へ純正ハーネスを通します。

片側がふさがった穴へハーネスを通します。

③ プライヤー等で金具を押し込みます。

しっかり押し込まないと接続不良になります。

④ フタを閉じて完了です。

要点

・トップケースの取付けには別売りのマウント（アルミモノキーベースなど）が必要になります。
・マウントや車種別フィッティングの取付け手順については、各商品に添付の取扱説明書をご参照下さい。
・モノキーベースにある穴開け部分は、A ポンチ等をあわせてハンマーで叩いて下さい。バリはヤスリで取除いて下さい。必ずオモテ面から打ち抜くこと。裏面から打ち抜くと接点が確実に固定できません。
・(+)の線は、間違いなく車体側のブレーキランプと結線して下さい。誤ってテールランプの線には結線しないで下さい。テールランプと連動させると、保安基準に抵触します。
・ケース装着の有無に関わらず、走行時には④接点カバーを必ず外して下さい。
・ブレーキランプのバルブが切れた際は、①ケースの裏面よりビスを外し、レンズを外してから中の基盤を外して下さい。このバルブは、基盤にハンダで固定されています。補修用のバルブは、この基盤の交換となります。予めご了承下さい。

＜使用方法＞

１．［①ケースを開く］

1-1.　①ケースのカギ穴に②キーを差し込みます。（図１参照）

1-2.　②キーを右（時計方向）に回し、ケースオープン位置に合わせます。PRESSマークを押すとケース開閉レバーのロックが解除されます。（図２参照）

1-3.　①ケースのフタを持ち上げます。（図３参照）

＊　ハンドルを引き出した状態でフタを開く時はキーをケースオープン位置にし､ハンドルの下にあるオープンボタンを押すとケース開閉レバーが解除されます。（図４参照）

1

２．［①ケースを閉じる］

2-1.　①ケースのフタを閉めます。

2-2.　ケース開閉レバーを下げます。この際にケース開閉レバーのツメが①ケースのフタに確実に掛かっている事を確認します。

2

⚠注意　•ケース開閉レバーを無理に閉めないで下さい。ケース開閉レバー等の破損により、①ケースのフタが閉められなくなる場合があります。

2-3.　②キーを左（反時計方向）に回し、ケースロック位置に合わせます。ケース開閉レバーがロックされます。

2-4.　②キーを抜きます。

３．［①ケースを取付ける］

3-1.　車体に取付けたマウントＢ部に①ケースを引っ掛けます。

3-2.　①ケースを上から押さえます。この際マウントプレートＣ部と①ケースのロック部分の位置が合っている事を確認します。

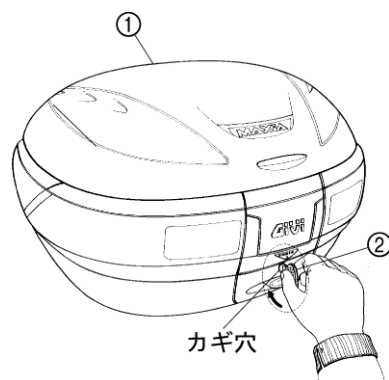
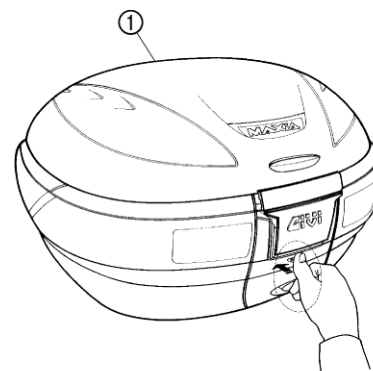
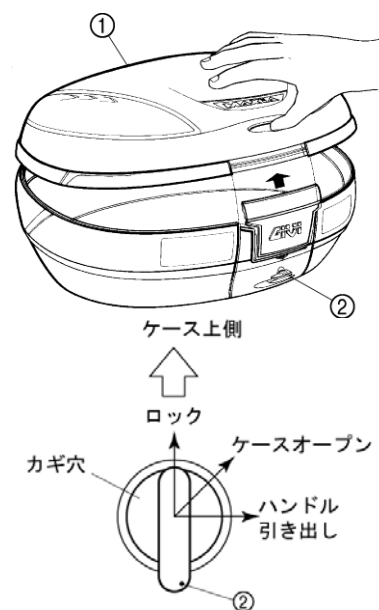
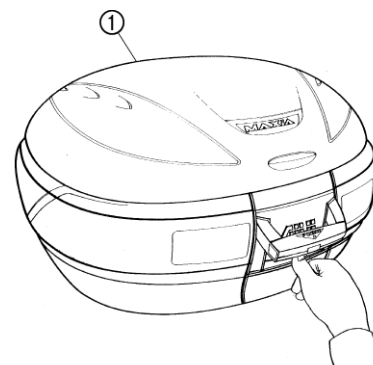
3

⚠注意　•①ケースを無理に取付けないで下さい。ロック機構が破損し、①ケースの取付けが出来なくなる場合が有ります。

3-3.　①ケースがマウントから外れない事を確認します。

⚠警告　•①ケースのロック部分が、確実にマウントにロックされているか、走行前に必ず確認して下さい。確実にロックされていませんと、走行中に①ケースが落下し、大変危険です。

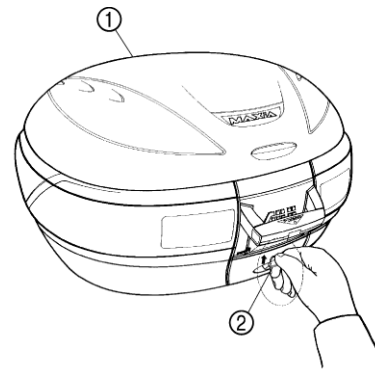
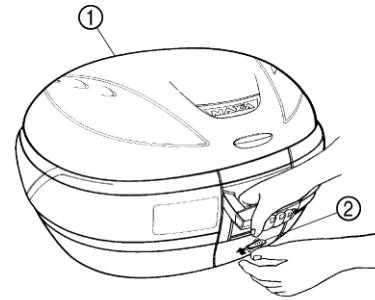
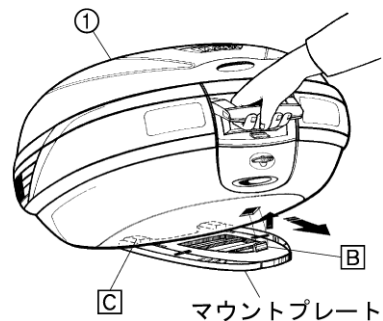
4

要点　キーがケースオープン位置の場合のみボタン、フラップ操作が可能です。

４．［①ケースの取外し］

4-1.　①ケースのカギ穴に②キーを差し込みます。（図５参照）

4-2.　②キーを右（時計方向）にいっぱいまで回します。ハンドルが引き出され、ケース取外しボタンのロックが解除されます。（図６参照）

4-3.　ケース取外しボタンを押しながら、①ケースを持ち上げます。（図７参照）

5

6

7

● 塗装に関する注意事項

＊ **基本的に、塗装やメッキ等の表面処理に関するクレームは受け付けておりません。予めご了承下さい。**

● 内装袋の廃棄に関する注意事項

＊内装の袋は焼却してもダイオキシンの発生がないポリエチレンを使用していますが、廃棄する際は必ず地域の条例に従って処分するようお願い致します。

この商品は予告なしに仕様や価格を変更する場合があります。また、文中にご紹介した商品についても同様です。ご了承下さい。

ＪＡＳＤＡＱ上場企業　証券コード７２２８

株式会社デイトナ　〒437-0226　静岡県周智郡森町一宮４８０５

デイトナ商品についてのご質問、ご意見は、0120-60-4955 まで。

営業時間　平日　午前９：00～午後６：00

ＵＲＬ総合 http://www.daytona.co.jp　　ＧＩＶＩ専用 http://www.givi-jp.com

GIVI モノロックケース　補足説明書

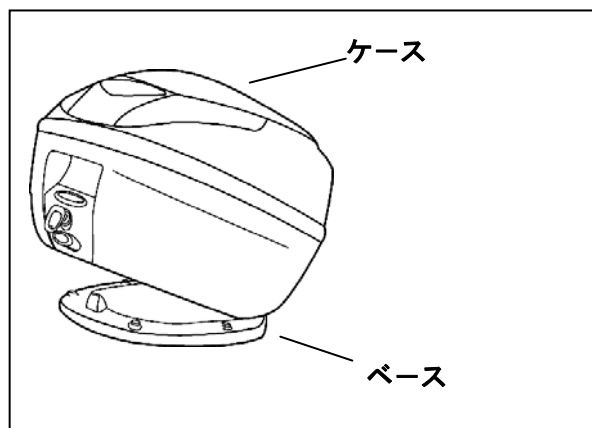
⚠警告 走行中のケース脱落防止の為に下記の確認を走行前に必ず行ってください。
ケースがベースに完全に固定されていない(仮固定)状態で走行すると走行中にケースが外れ大変危険です。

完全に固定されているか（本固定）の確認

装着後、ケース本体を上方向に持ち上げ、ベースから外れないかどうか確認してください。しっかり固定されていればケースは外れません。

途中で引っかかって仮固定されている状態（注 1）で持ち上げると外れてしまいます。仮固定の状態でもキーロックは出来てしまいますので、ご注意ください。

途中で引っかかって仮固定されている可能性がありますので<u>もう一度しっかり上から押して完全に固定してください。</u>

注１　ベースとケースの固定の特徴。
ケースを押し込む力の加減により、一度で本固定出来ない場合があります。ケースをベースに押し込む際、途中で固定された様な抵抗を感じられます(仮固定状態)が、そこからさらに下にケースを押して確実にベースに本固定させてください。
（"カチッ"　という音でケースの固定を判断しないでください。仮固定状態でも"カチッ"という音が発生します。
この状態で走行しますと、ケースが外れてしまい大変危険です。）

【ベースをバイクキャリアに装着する際の注意】
ベースを車体のキャリア等に装着させる際、ベースに歪みが出ないように均等な力で装着してください。
ベースが歪んでいる状態ではケースがうまく装着できません。

必ず、商品本体に付属している取扱説明書とこの補足説明書を一緒に保管してください。